

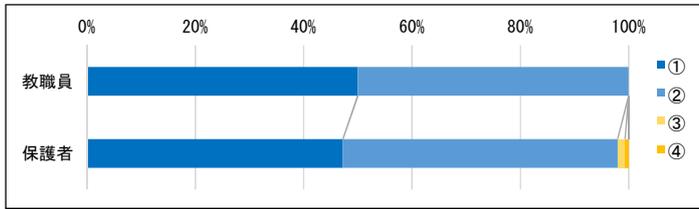
令和4年度 我孫子市立湖北台東小学校 学校評価分析

全体傾向と課題

各項目別の分析（各評価の割合は小数点以下四捨五入で処理をしているため、合計が99%にならないものがありますご了承下さい。）

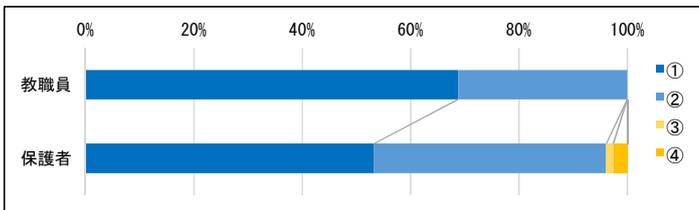
① ② ③ ④
 あてはま 概ねあて あまりあて あてはま
 る はまる ない らない

No.	項目		R04年度 平均評価	R03年度	R02年度	評価別割合			
						①	②	③	④
1	教職員	学校は、学校教育目標達成のために努力している。	3.50	3.57	3.32	50%	50%	0%	0%
	保護者	学校は、学校教育目標達成のために努力している。	3.45	3.42	3.32	47%	51%	1%	1%



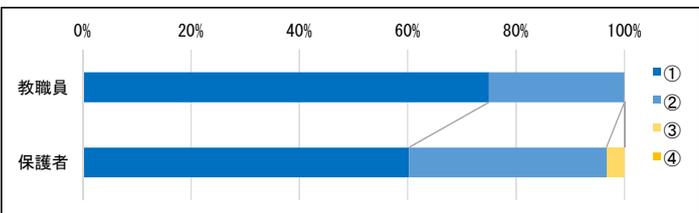
保護者の平均評価は昨年度と同様の値と言える。感染対策をしながら徐々にコロナ拡大前の教育活動に近づけていったことが評価されたと思われる。教職員の平均評価もほぼ昨年度と同様の値と言える。更に工夫・改善をしながら保護者と教職員の評価が共に向上するよう、学校教育目標達成のために全力を注いでいきたい。

No.	項目		R04年度 平均評価	R03年度	R02年度	評価別割合			
						①	②	③	④
2	教職員	学校は、教育内容を保護者・地域に知らせている。	3.69	3.76	3.27	69%	31%	0%	0%
	保護者	学校は、日頃の教育活動を保護者・地域に知らせている。	3.47	3.44	3.27	53%	43%	1%	3%



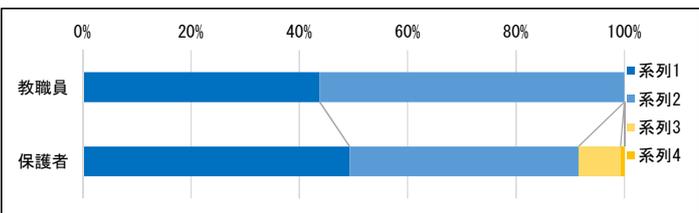
今年度も感染予防に努めながら学校行事や授業参観を行った。運動会やメロディーフェスティバルは保護者の入場制限を設け、授業参観は2日に分けて実施した。毎日の学校の児童の様子をホームページで知らせている。またより広く学校の様子を知ってもらうために今年度より地域の方に学校だよりを回覧するようにした。平均評価の値は、教職員も保護者も昨年度とほぼ同様の値となっている。今後も継続して学校における児童の様子や教育活動を家庭や地域に発信するように努めていきたい。

No.	項目		R04年度 平均評価	R03年度	R02年度	評価別割合			
						①	②	③	④
3	教職員	学校は、来校者や保護者に対して親切に対応している。	3.75	3.57	3.54	75%	25%	0%	0%
	保護者	学校は、来校者した保護者に対し丁寧に対応している。	3.57	3.57	3.54	60%	36%	3%	0%



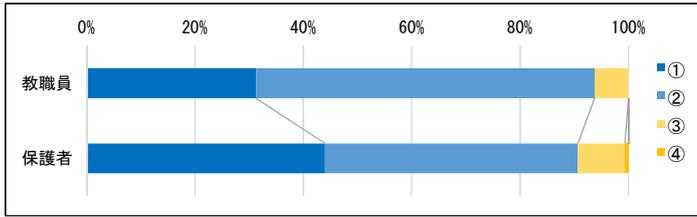
保護者の平均評価は昨年度と同じ値だった。教職員の平均評価は1.18ポイント向上している。職員全体が丁寧に対応するように心がけた結果であると考える。今後も教職員の挨拶や返答・服装等について常に見直ししながら、保護者や来校者に対し、教職員一同誠意をもって丁寧な対応を心掛けていきたい。

No.	項目		R04年度 平均評価	R03年度	R02年度	評価別割合			
						①	②	③	④
4	教職員	学校は、熱心で分かりやすい授業に努めている。	3.44	3.45	3.42	44%	56%	0%	0%
	保護者	教職員は、分かりやすい授業に努めている。	3.40	3.39	3.42	49%	42%	8%	1%



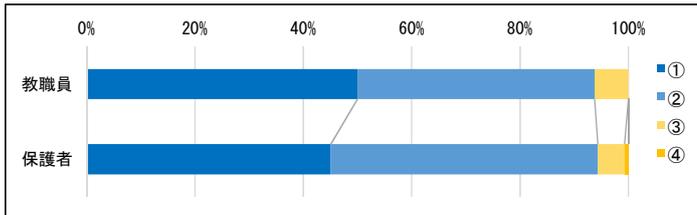
平均評価の値は保護者も教職員も昨年度とほぼ同様の値である。効果的なタブレットの活用の仕方を研究し、全学年において実践した。タブレット学習や欠席者に向けたリモート授業を積極的に行った。教職員は「授業改善のためのセルフチェックシート」を活用し、わかりやすい授業実践に努めた。今後も児童がよくわかり、楽しいと思える授業ができるように更なる校内研修の充実に努めていきたい。

No.	項目		R03年度 平均評価	R02年度	R01年度	評価別割合			
						①	②	③	④
5	教職員	学校は、体験的な学習を通じて自然や人々と触れ合う機会を設けている。	3.25	3.10	2.88	31%	63%	6%	0%
	保護者	学校は、体験的な学習を通じて自然や人々と触れ合う機会を設けている。	3.34	3.32	2.88	44%	47%	9%	1%



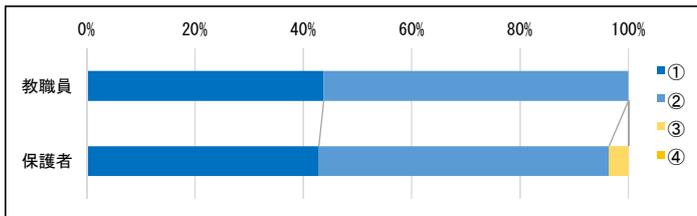
保護者の平均評価は0.02ポイント上がり昨年度と同様の値である。教職員は0.15ポイント上がっている。感染対策をとりながら体験活動を行うように努めた。花や野菜を育てたり、生き物を飼育したりする学習も取り入れている。今後も体験的な学習のよさを生かした学習を実践し、児童の「生きる力」の育成に努めていきたい。

No.	項目		R03年度 平均評価	R02年度	R01年度	評価別割合			
						①	②	③	④
6	教職員	学校は、清掃活動に力を入れて取り組んでいる。	3.44	3.62	3.33	50%	44%	6%	0%
	保護者	学校は、清掃活動に力を入れて取り組んでいる。	3.39	3.33	3.33	45%	49%	5%	1%



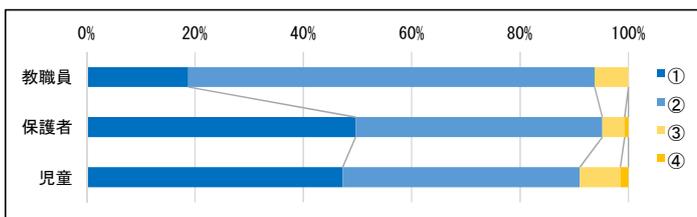
保護者の値が0.06ポイント上がっているのに対し、教職員の値が0.18ポイント下がっている。広い校舎敷地及び校庭等の屋外の敷地全てを十分に清掃していくことは難しい状況だが、児童は清掃活動に対し一生懸命に取り組んでいる。清掃の時間以外にも高学年児童を中心に落ち葉掃き等の奉仕活動に取り組んでいる。今後も清掃活動に加えて学校をきれいに大切に使う児童の姿勢を育てていきたい。

No.	項目		R04年度 平均評価	R03年度	R02年度	評価別割合			
						①	②	③	④
7	教職員	学校は、防災・安全指導に力を入れて取り組んでいる。	3.44	3.43	3.26	44%	56%	0%	0%
	保護者	学校は、防災・安全指導に力を入れて取り組んでいる。	3.39	3.31	3.31	43%	54%	4%	0%



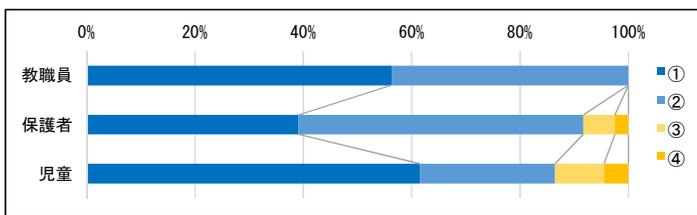
保護者の平均評価が0.08ポイント上がっている。教職員は0.01ポイント上がり昨年と同様の値である。感染予防を含めた安全指導と避難訓練の実施を行ってきた。今後も防災研修の実施や学区内の見回り、安全指導員の方々の協力を得て登下校指導、交通安全や不審者対策等の安全教育を行い、児童をけがや事故から守れるように努めていきたい。

No.	項目		R04年度 平均評価	R03年度	R02年度	評価別割合			
						①	②	③	④
8	教職員	学校は、生徒指導(挨拶・返事・くつの整理等)に力を入れて取り組んでいる。	3.13	3.43	3.26	19%	75%	6%	0%
	保護者	学校は、生徒指導(挨拶・返事・くつの整理等)に力を入れて取り組んでいる。	3.44	3.42	3.26	50%	46%	4%	1%
	児童	あいさつ・返事・くつの整理整とんをがんばっている。	3.37	3.43	3.70	47%	44%	7%	1%



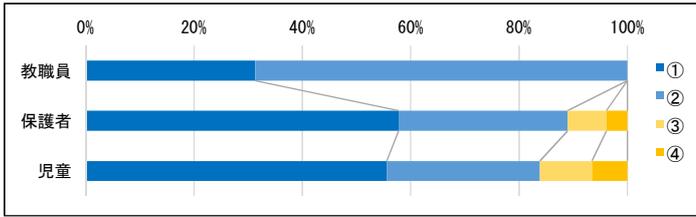
保護者の平均評価はほぼ昨年度と同様であるが、教職員と児童の評価が下がっている。「あいさつ運動」がなくなったことや、まだ受け身の児童がいるため「進んでできる挨拶・返事」という点から評価が下がったと考える。折に触れ、あいさつをすることの大切さを伝え、自分から気持ちのよいあいさつができるように指導を続けていく。また、児童の生活指導を行い、基本的な生活態度を身につけられるようにする。また、くつの整理だけでなく、身の回りの整理整頓についても各学級で指導を行い、児童の意識を向上させ、実践できる子を育てていきたい。

No.	項目		R04年度 平均評価	R03年度	R02年度	評価別割合			
						①	②	③	④
9	教職員	学校は、いじめなど個々に問題を抱える児童に対し必要な支援を行っている。	3.56	3.70	3.44	56%	44%	0%	0%
	保護者	学校は、いじめなど、個々に問題を抱える児童に対し支援を行っている。	3.28	3.18	3.44	39%	53%	6%	3%
	児童	いじめられたり、困ったときに先生はいつしよに考えてくれる。	3.44	3.48	3.47	62%	25%	9%	5%



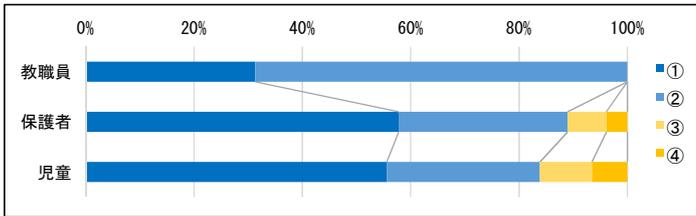
今年度、いじめアンケートや学校生活アンケートを、個人面談を行った。また、3年生以上の全児童を対象にQ-U検査を実施し、いじめや悩みを抱える児童の早期発見と早期解決に努めた。平均評価では教職員が1.4ポイント下がった。一方で保護者の評価は1ポイント上がっている。児童の評価は0.04ポイント下がっており昨年度とほぼ同じである。児童の評価が下がっていることを重く受け止め、児童一人一人を大切に、真摯に向き合い対応していくことでより一層の信頼関係を築いていきたい。

No.	項目		R04年度 平均評価	R03年度	R02年度	評価別割合			
						①	②	③	④
10	教職員	湖北台中学校区では、小中一貫教育の充実に努めている。	3.06			19%	69%	13%	0%
	保護者	湖北台中学校区では、小中一貫教育の充実に努めている。	3.00			24%	55%	18%	3%



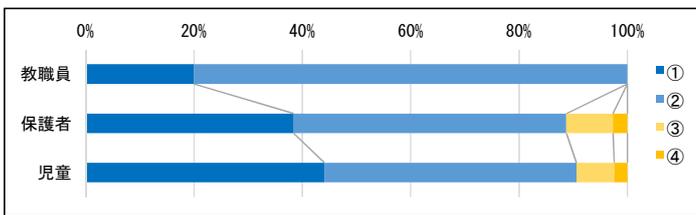
今年度新たに加えた質問項目である。毎年、中学校区で3校共同の「教育ミ二集会」を行っている。今年度は3校共同の学校運営委員会を行った。小中一貫教育としてどのような取り組みを行い、どのような成果があったかを保護者や地域に発信していきたい。

No.	項目		R04年度 平均評価	R03年度	R02年度	評価別割合			
						①	②	③	④
11	教職員	児童は、学校に楽しく登校している。	3.31	3.29	3.37	31%	69%	0%	0%
	保護者	お子さんは、学校に楽しく登校している。	3.43	3.52	3.33	58%	31%	7%	4%
	児童	学校に楽しく登校している。	3.33	3.52	3.56	56%	28%	10%	7%



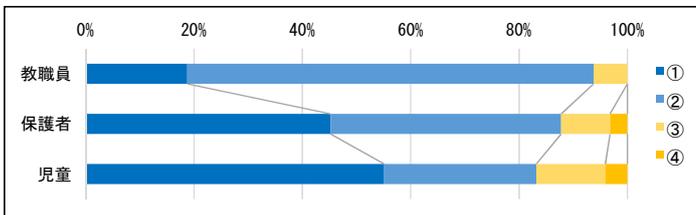
保護者の評価が0.9ポイント、児童の評価が1.9ポイント下がっている。評価「3」「4」を併せて17%の児童が「楽しい」といえない状況であることを重く受け止めなければならない。その原因を分析し、指導方法や取り組み方を振り返り、改善していく。「よくわかる授業」「居心地のよい学校」「児童が主体となって取り組める学校行事」等の充実を目指し、どの児童にとっても「楽しく登校できる学校づくり」を推進していきたい。

No.	項目		R04年度 平均評価	R03年度	R02年度	評価別割合			
						①	②	③	④
12	教職員	児童は、熱心に授業に取り組み、学習した内容について理解している。	3.20	3.19	3.31	20%	80%	0%	0%
	保護者	お子さんは、熱心に授業に取り組んでいる。	3.25	3.34	3.28	38%	50%	9%	3%
	児童	熱心に授業に取り組み、学習した内容を理解することができている。	3.32	3.38	3.53	44%	47%	7%	2%



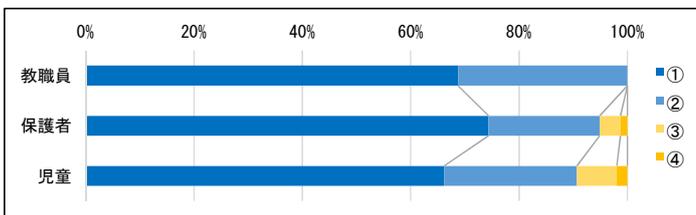
教職員の評価は昨年度と同じく「1」「2」で100%の肯定評価となっており、指導者側から児童は熱心に授業に臨んでいることがうかがえる。しかし、保護者や児童の評価がそれぞれ0.9ポイント、0.06ポイント下がっていることをしっかりと受け止め、これまで以上に「よくわかる授業」を実践できるように一層の授業づくりに励んでいきたい。

No.	項目		R04年度 平均評価	R03年度	R02年度	評価別割合			
						①	②	③	④
13	教職員	児童は、宿題や自主学習等の家庭学習を行っている。	3.13	3.05	3.17	19%	75%	6%	0%
	保護者	お子さんは、宿題や自主学習を家でやっている。	3.30	3.37	3.23	45%	43%	9%	3%
	児童	宿題や自主学習など家庭学習を行っている。	3.34	3.37	3.54	55%	28%	13%	4%



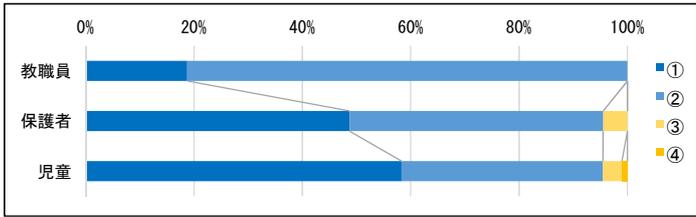
教職員の平均評価は0.8ポイント上がっているが、保護者のポイントは0.7ポイント下がった。宿題以外の自主学習について学習時間の目安を示したり、学習内容の指導を行ったりして家庭学習の定着を図りたい。タブレットの効果的な学習についても進んで取り入れていく。家庭学習は学校と家庭の連携が重要である。今後も家庭の協力を得ながら十分な成果を上げられるようにしていきたい。

No.	項目		R04年度 平均評価	R03年度	R02年度	評価別割合			
						①	②	③	④
14	教職員	児童は、学校行事(運動会・校外学習等)に楽しく参加している。	3.69	3.62	3.54	69%	31%	0%	0%
	保護者	お子さんは、学校行事(運動会・校外学習等)に楽しく参加している。	3.68	3.74	3.27	74%	21%	4%	1%
	児童	学校行事に楽しく参加している。	3.55	3.65	3.64	66%	25%	7%	2%



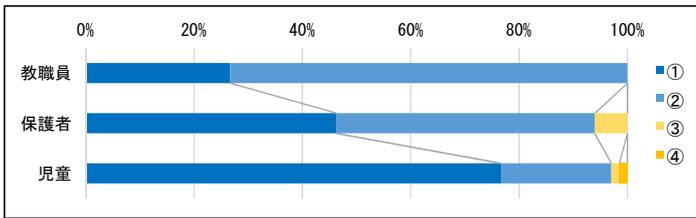
教職員の評価は0.07ポイント上がっているが、保護者は0.06ポイント、児童は0.1ポイント下がっている。今年度は感染対策に気をつけながらも、できる限り制限を緩和しながら行事を行った。平均評価が下がっていることを受け止め、行事の内容や練習を工夫・改善し、一人一人が活躍できる行事になるように努めていきたい。

No.	項目		R04年度 平均評価	R03年度	R02年度	評価別割合			
						①	②	③	④
15	教職員	児童は、社会や学校のルールを守って生活している。	3.19	3.24	3.26	19%	81%	0%	0%
	保護者	お子さんは、社会や学校のルールを守って生活している。	3.44	3.49	3.29	49%	47%	4%	0%
	児童	社会や学校のルールを守って生活している。	3.53	3.71	3.67	58%	37%	4%	1%



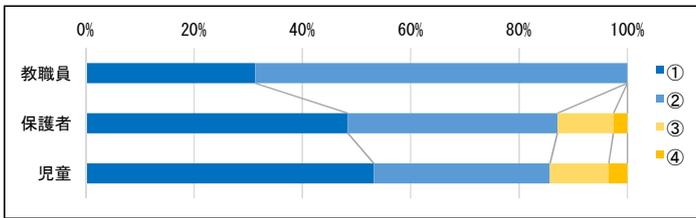
全ての平均評価が下がっていることを重く受け止めなければならない。児童の多くは基本的なルールやきまりを守って生活しようとしている。しかし、時折自分の気持ちを優先してしまうことも見受けられる。社会や学校のルールを守ることは生きていく上で非常に大切なことであるのでその必要性をしっかりと指導していきたい。

No.	項目		R04年度 平均評価	R03年度	R02年度	評価別割合			
						①	②	③	④
16	教職員	児童は、学級や学校で好ましい友達関係を築いている。	3.27	3.24	3.23	27%	73%	0%	0%
	保護者	お子さんは、学級や学校で好ましい友達関係を築いている。	3.40	3.48	3.11	46%	48%	6%	0%
	児童	学校や学級で友だちとなかよくしている。	3.72	3.78	3.67	77%	20%	1%	1%



全ての評価ポイントは昨年度とほぼ同様である。多くの児童が良好な友だち関係を築いているようである。しかし、「3」「4」で保護者が6%、児童が2%の値を示していることを重く受け止め、一人一人にしっかりと向き合い、悩みを解決していけるように教育相談体制を充実させていく。また、よりよい友だち関係を築いていくためにはどうすればよいかということを学んでいけるような取り組みを積極的に行っていきたい。

No.	項目		R04年度 平均評価	R03年度	R02年度	評価別割合			
						①	②	③	④
17	教職員	児童は、外で元気に遊んだり、運動したりしている。	3.31	3.29	3.29	31%	69%	0%	0%
	保護者	お子さんは、外で元気に遊んだり、運動したりしている。	3.33	3.42	3.51	48%	39%	10%	3%
	児童	外で元気にあそんだり、運動したりしている。	3.35	3.44	3.47	53%	33%	11%	3%



平均評価は全て昨年度と同様の値と言える。本校では多くの児童が休み時間には校庭で元気に遊んでいるが、その一方でいつも教室や図書室で過ごしている児童もいる。日常の体育科授業の充実を図り、もみじ交流、業間のマラソンやなわとびの取り組みなどを通して児童の運動や遊びの時間を保障し、児童の体力向上に努めていきたい。

学校運営協議会委員(学校関係者)の意見とまとめ

○学校は目標達成のために努力していると感じる。
 ○日々のホームページ更新は、学校の様子を伝えるため、また、学校の考えや方針を伝えるためにとても大きな役割を果たしている。しかし、逆にホームページに載っていないことは伝わりにくい。 ○地
 域とともにある学校を目指すために、教職員と保護者、地域の方々との感覚の差をどう縮めるか、難しい課題である。
 ○すべての質問の回答が①と②で80%を超えているため、概ね皆さんが満足されていると受け取れた。
 ○No.4とNo.5について、保護者に見えていない部分もあると思うので、コロナ禍が安全に明けたら授業参観の機会を増やしてもらうか、保護者側からも「授業を参観したい。」という積極的な意見があるよと思う。 ○先
 生方の仕事を保護者が知るのも、学校と保護者の信頼関係が築けるのでよいと思う。
 ○No.9については、集団生活においては必ず起こりうるのだが、③と④と答えた児童について、何が起って何が原因なのかを明確にすることが大事だと思うし、悩んで困ったときに、誰にどこで相談するのかを子どもたちが知ることが大切だと思う。
 ○保護者が相談しやすいように開けた学校であってほしいし、保護者ももっと積極的に先生とコミュニケーションをとるべきだと思っている。(No.13の向上にもつながると思う。)
 ○No.1.No.2.No.3の学校の土台となると考える項目の評価アップが目立つのはホームページの更新の速さやQ-Rコードの導入などが有効に働いている体と思われる。
 ○気になったのはNo.8.No.11.No.12児童の評価の低さである。楽しさや勉強の理解力に関しては、コロナ対策をしながらの学校生活だったことが強く影響しているのではないだろうか。少しずつ社会状況が落ち着いてくると同時に、児童たちの生活や精神面が安定していくことに期待している。
 ○No.8のあいさつについても、コロナ禍であいさつ運動が減っていたと思うが、今後、以前の様に機会が増えることを期待する。私が校内で児童にあったときは、元気な声であいさつしてくれて、こちらが元気をもらっている。 ○
 各項目において①②の合計と③④の合計の値の比較乖離幅が小さい方がよいと思う。乖離幅が大きいと感じたのはNo.9.No.10.No.11.No.12.No.13.No.17である。 ○
 No.9.No.11.No.17は、どことなく関連性があるのではないだろうか。
 ○No.12.No.13は、個人差や家庭環境の違いが影響していると思われる。
 ○No.10は、スタートしたばかりなので理解の違いはやむを得ないと思われる。
 ○結果としてNo.9.No.11を良くしていくことが、今後の重要な課題であると思われる。